

いわき探検記

2022年4月号 (Vol. 1)

地域おこし協力隊

辻村 春香

2022年4月。着任から1年たちました。

3人いる隊員の中で一番影が薄く、何をしているかわからないナゾの人になっているかも…、ということで、もっと発信せねば、と危機感を覚え…（というか、お尻に火が付いた感じで）
新年度を契機に、月1回発行を目標に、自身の活動を報告（広告？）していきたいと思えます。

◆◆ 題名について ◆◆

ふざけていると思われるかもしれませんが、津軽の青森市出身の私でも、岩木で過ごす日々は発見の連続です。一つの発見があれば、それに紐づいてナゾが増え、資料調べをし、出かけて行って現物を見る、の繰り返し。それはまさに「探検」ではないかと思えます。

探検によってみつけた「発見」「驚き」をいろんな人に伝え、「地域資源」として活かしていけるかどうか、これからの活動にかかわってくると思えます。

初心を忘れないために、「発見」を求める探求心を題名に込めました。

◇ まずは、自己紹介から… ◇



岩木総合支所 総務課で勤務中!

高校卒業まで青森市で生まれ育ち、大学で茨城県へ。

新卒で八戸に4年勤務しましたが、その後は神奈川・奈良・京都、そして東京に住んでいました。

税理士事務所や経理を10年くらい経験した後、なぜか営業に抜擢されて、コンサル営業してました。

新卒時の同期（←ほぼ県内勤務）からは、「遠くに行っただかと思ったら、徐々に帰ってきてんじゃん!」とツッコミ受けつつ。

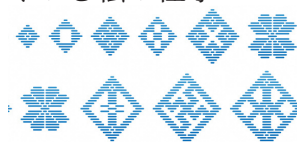
そのころの同期とも、昨年、十数年ぶりに音信が復活！（←サボりすぎ）

青森に戻ってきた理由は「青森県を元気にするような事業をして起業したい」と思い、どこを拠点に・どんな事業にしよう悩んでいたところ、岩木地区に拾っていただいたので、岩木で地盤をしっかりと築きたいと考えています。

◇活動テーマ◇

- ・生産技術： 農業、漆・こぎん刺し等に係る原料の生産技術 等
- ・地域資源： 「地元民にとっては当たり前」で気づかない地域資源の発見（空き家、耕作放棄地、山野草その他）、活用 等

1人でできることは少ないので、キーワードをもとに、いろんな人と人をつないでいくのも私の仕事一つだと考えています。



生産技術に関する想い

農業に興味を持ち始め、実際に農作業に触れるようになってから、タネの問題や食料安全保障の問題にも興味を持ち始めました。

考えてみると、自分自身「お金を出せば買える環境」にすぎ、そもそも「買える状態になるまで育てる・つくる・獲得する」の過程がわからないまま生活していることに恐怖を覚えました。

協力隊になる前の2020年12月、知人の紹介で「しめ縄づくり」に参加したことをきっかけに、道具をつくったりすることにも興味を持ち始めました。

「知らないなら、これから知りはじめればよい」と思い、地域の人に話を聞いたり、体験・参加させてもらっています。

(1) 農業

10年くらい前から「農業にかかわる仕事がしたい」と思っていました。きっかけは、帰省するたびに少なくなる田んぼや、かつて田んぼだったところが雑木林化していたり、親せきもいつの間にか田んぼをやらなくなっていたり…

「地元である青森県が元気になってほしい」そう考えたとき、流行り基幹産業は第一次産業であり、農業だと思いました。

しかし、農業に対する知識も乏しく熱意だけだったので、協力隊になったのを機に、積極的に「農」にかかわりたいと思い、行動を始めました。

また、「農」の出口としての「食」「食育」関係にもかかわっていきたいと考えています。



①農家訪問、作業体験

友人の紹介で、岩木地区の農家さんにお会いしました。

そこらご縁をいただいて、何人かの農家さんを(芋づる式に)紹介してもらい、少しずつかわりが増えてきました。

知り合った農家さんのところで1日研修させていただきながらお話を聞いたり、稲刈りを体験しに行ったり、業務時間外に、石川地区でりんご農園を経営する協力隊隊員のところでりんごバイトをしながら、学んでいるところです。



一緒に作業していた女性の作業風景(右)

②こども農業部

NPO法人「みらいねっと弘前」がおこなっている「こども農業部」の活動を知り、NPO会員となって農業部にほぼ毎回スタッフ参加していました。

子どもに対する「農育」をどのようにおこなっているのか、また親御さんに農業部に参加するきっかけ等をヒアリングしながら、自分がやっていきたい「農育」の方向性を探り始めました。

ときどき親子クッキングも。



③在来作物研究会への参加

協力隊になる1年くらい前に、埼玉県で種苗屋さんを営む野口勲さんの講演を受講。

そのときに「商業向けでなく自家消費なら在来種がおすすめ」という話を伺い、また、昔食べていたピーマンと今のピーマンの味の印象が違う原因を教えてもらい、在来作物に興味を持ちました。

現在は、「青森県在来作物研究会」の存在を知り、活動に参加しています。

岩木にも「ズキイモ(里芋)」「兼平ニンニク」「クロモチ(黒い籾殻の米)」などがあることが資料からわかってきました。

品目	品種名	地域	品目	品種名	地域
ヤマイモ	白子在来	藤崎町	ネギ	地ねぎ	藤崎町
	がくみじか	名川町・南部町		藤崎在来	藤崎町
ニンニク	福地	福地村		南部一本太	南部町
	岩木	岩木町	タマネギ	石川在来	弘前市
ダイコン	石江	青森市		青森在来	青森市
カブ	筒井	青森市	ツケナ	ふきだち	八戸市・南郷
	ざるいし	青森市	キュウリ	地きゅうり	今別町
	豊蔭	南津軽郡		糠塚	八戸市
ニンジン	向井	青森市	トウガラシ	在来	弘前市
	前田	青森市	食用ギク	阿房宮	三戸郡
	板橋	八戸市			
	大根子	津軽地域			
	白子	津軽地域			

青森県在来作物研究会

④家庭菜園

ひまわり
@ANEKKO市民農園「向日葵」ほか

2021年5月から11月、ANEKKOさんの市民農園をお借りして、野菜・豆そして藍を育てました。

自宅で苗作りにも挑戦し、何とか1年やり切りました。

仕事が終わってから草取りなどの世話をしに通ってました。

欲張っているいろいろ植えてしまい、手が回らずに失敗したものもありますが、学びの多い畑でした。

収穫したシロウリ、オクラ、キュウリ



オクラの花

実がつかなかったスイカ

⑤嶽きみオーナー 収穫体験 ～アテンド補助、収穫手伝い

岩木名物「嶽きみ」。

食べた経験はあっても、実際に畑に入ったことはありませんでした。

隊員3人で発行している「協力隊新聞」でも報告しましたが、太田隊員と一緒に、ANEKKOさんの畑で体験するオーナーさんの案内を手伝いながら(案内のない時間は収穫の手伝いをしながら)現場を見させていただきました。



⑥「津軽味噌づくり体験」 ワークショップの企画・運営

岩木をグルグル歩くと、大豆畑がたくさんありました。

「みなさん、大豆は消費しきっているのかな？」という疑問が持ち上がり、一方で日常的に口にする味噌をつくる人が少ないことがわかりました。

手塩にかけて育てた大豆を、無駄なく使うために味噌をつくってほしいと思い、このワークショップを企画。知人の農家さんから「中学生と一緒に味噌づくりを数年していた」とお話を伺い、講師をお願いしました。

最終的に、参加者は4名のみ。こじんまりと実施しました。



(2) 漆

①津軽塗職人さんとの出会い

施設見学に行ったねぷた村で、「漆からは蠟が採れて、ろうそくとして使っていた」と話を伺い、伝統工芸「津軽塗」もさることながら漆そのものに興味を持ちました。

そのうち、津軽塗の職人さんとの縁をいただきました。

ときどきお話を伺いに行っていますが、訪ねる度に必ず学びがあります。

②漆掻きの見学

職人さんが、「自分で使う漆を掻きに行く」ということで、2回ほど、同行させていただきました。

2回目は、同期の太田隊員・対馬隊員も一緒に行き、見学。

3回目は漆掻きに挑戦…、の予定でしたが、2回目に見事に漆かぶれを発生させ、痒さにもがき苦しみました(笑)。

③中南县民局の研修会に参加

中南县民局は、国内の文化財修復等で国内産の漆の需要が高まっていることから、漆栽培を強化していきたい、ということで研修を実施しています。

管理が難しくなってきた山林や、いろいろな理由で耕作できなくなったりんご園・畑での漆の栽培も視野に入れているそうです。

研修会で知り合った仲間と情報交換しながら、漆施業の可能性を探っています。



(3) こぎん刺し

中学校の授業で習って以来、我流で細々と続けてきたこぎん刺し。
津軽の家庭でおこなわれてきた、女性たちの細やかな手しごとです。
岩木に来て、こぎん関連で「すごい！」と思ったこと。

それは、『津軽広しと言えど、こぎんの資料館、あるのは岩木だけ。しかも3つも!!』
ということでした。

①藍の栽培

弘前城近くの川崎染工房で見つけた藍のタネを購入、栽培にチャレンジしました。

試行錯誤しながら栽培しましたが、収穫できた葉の量は少なかったです。

昨年、何とか種取りできたので、今年は量を増やして栽培予定です。

②苧(からむし)栽培の見学

苧については、鬼楯地区に実験で植えている個人宅があるので、ご縁をいただいて見学させていただきました。

家庭菜園の端のスペースで育てていらっしゃいました。

苧の株が入手できれば、私も栽培にチャレンジし、ゆくゆくは繊維を採ってみたいと思います！

③こぎんイベントへの参加

りんご花まつりで、“岩木かぢらず会”がワークショップをしていると聞き、こっそり訪ねました。リンゴ柄の髪ゴムを作成。

伝統柄しか刺したことがなかったので、新鮮な感じでした。

また、佐藤 陽子さんとのご縁で、こぎんの屋外イベントに参加しました。

屋外でこぎん、というのはなかなかない状況。珍しい体験をしました。



④津軽中学校「伝統講座」の見学

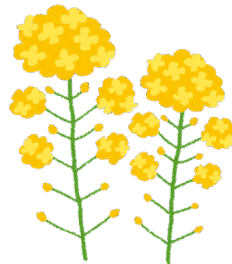
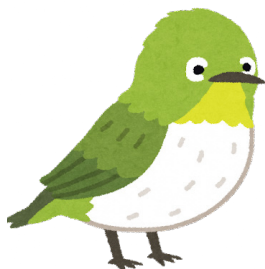
“岩木かぢらず会”の方が、中学生に教えていらっしゃると聞き、中学校にお願いして見学させていただきました。

生徒もさることながら、担当の男性教員がことさら一生懸命刺しておられ…

その後、男性の作家さんとも知己を得、津軽中学校の教諭といい、男性にも「こぎん」が広がりつつあることは、よい兆しに思えます。

男女関係なく、興味のあるものに取り組んでいただきたいですね。

辻村の活動記録。次回に続く!!



◆◇ 編集後記 ◇◆

昨年1年間にやっていたことを書き出していたら、あっという間に紙面が埋まってしまう、半分しか書けませんでした。

あまり長くなっても読み飽きてしまうので、次号に昨年の活動報告の続編を載せようと思います。

昨年は動き回るのに精いっぱい整理ができませんでした。ようやく1年を振り返ることができました。

これまで発信を怠ってきたと反省する一方、自身の方向性も定まってきたかに思えます。

次号は「昨年の振り返り(後編)」、次々号からは、令和4年度の活動報告等していきたいと思っています。

長々と読んでいただき、ありがとうございました!!